

2007年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」(1年次生対象)集計結果

- 調査対象者 学部 2007年度生全員。
- 調査方法 2007年度秋学期成績交付時に調査票を配布，その場で学生に回答してもらい，回収した。
- 回収状況 有効回収票数は 4767 票であり，3月31日時点の在籍者数に対する回収率は 85.5%であった。

表 学部別回収状況

	有効票数	在籍者数	回収率(%)
神学部	62	61	101.6
文学部	662	746	88.7
社会学部	367	428	85.7
法学部	733	849	86.3
経済学部	804	967	83.1
商学部	713	853	83.6
政策学部	336	414	81.2
文化情報学部	242	269	90.0
工学部	825	988	83.5
不明	23	-	-
合計	4767	5575	85.5

2007年度 キャンパスライフに関するアンケート調査（1年次生用）

アンケートご協力をお願い

このアンケート調査は、1年次生のみなさんのバックグラウンドや、1年間学ばれた時点で本学の教育に対して感じておられることを知ることによって、より良い1年次教育プログラムを開発することを目的として、同志社大学教育開発センター（TEL：075-251-3277）が実施するものです。また、同様の調査をみなさんが3年次生か4年次生になられた時点でも実施し、さらに数年間学ばれた後で大学1年次の時に感じられたことが、どのように変化したかを探ることも計画しています。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありませんし、調査結果を本学の教育改善の目的以外に使用することはありません。ただし、回答したくないと思われる質問には、無理に答えていただくなくて結構です。

質問は全部で22問ありますが、10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

みなさんの意見から得られたことを教育改善の取組を通じてみなさんに還元するための重要な資料となる本アンケートに、是非ともご協力くださいますよう、お願いいたします。

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------------|----------------------|
| 1. 神学部神学科 | 10. 社会学部メディア学科 | 19. 工学部インテリジェント情報工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 11. 社会学部産業関係学科 | 20. 工学部情報システムデザイン学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 12. 社会学部教育文化学科 | 21. 工学部電気工学科 |
| 4. 文学部心理学科 | 13. 法学部法律学科 | 22. 工学部電子工学科 |
| 5. 文学部美学芸術学科 | 14. 法学部政治学科 | 23. 工学部機械システム工学科 |
| 6. 文学部文化史学科 | 15. 経済学部経済学科 | 24. 工学部エネルギー機械工学科 |
| 7. 文学部国文学科 | 16. 商学部商学科 | 25. 工学部機能分子工学科 |
| 8. 社会学部社会学科 | 17. 政策学部政策学科 | 26. 工学部物質化学工学科 |
| 9. 社会学部社会福祉学科 | 18. 文化情報学部文化情報学科 | 27. 工学部環境システム学科 |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 自宅通学 | 2. 自宅外通学 |
|---------|----------|

4. あなたの2007年度のGPAはいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 3.00ポイント以上 | 2. 2.50～2.99ポイント | 3. 2.00～2.49ポイント |
| 4. 1.50～1.99ポイント | 5. 1.00～1.49ポイント | 6. 1.00ポイント未満 |

5. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 一般入試
2. 指定校推薦入試
3. 推薦選抜入試（公募制）
4. A○入試
5. 大学入試センター試験を利用する入試
6. 法人内諸学校等推薦入試（同志社高校）
7. 法人内諸学校等推薦入試（同志社香里高校）
8. 法人内諸学校等推薦入試（同志社女子高校）
9. 法人内諸学校等推薦入試（同志社国際高校）
10. 法人内諸学校等推薦入試（新島学園高校）
11. スポーツ推薦選抜入試（商学部のみ）
12. 社会人特別選抜入試
13. 外国人留学生入試

6. 本学は、あなたが何番目に志望した大学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 第一志望
2. 第一志望以外

7. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現役
2. 一浪
3. 二浪
4. その他（留学生、社会人など）

8. あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	重要でない	いくらか重要	非常に重要
1) 就職に有利だから	1	2	3
2) 周りの人たちが進学を希望したから	1	2	3
3) 親の希望だから	1	2	3
4) すぐに働きたくなかったから	1	2	3
5) 大学で学ぶ内容に興味があったから	1	2	3
6) 幅広い教養を身につけたかったから	1	2	3
7) 専門的知識を身につけたかったから	1	2	3
8) 学生生活を楽しんでみたかったから	1	2	3
9) 資格を取るために必要だったから	1	2	3
10) より高い学歴のために必要だったから	1	2	3

9. あなたは志望校として本学を選択するにあたって、どのような点を重視しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 建学の精神や理念に惹かれた | 9. 親や知人の出身校である |
| 2. イメージが良い | 10. 親や知人に勧められた |
| 3. 自分の好きな分野を活かせる | 11. 資格が取れる |
| 4. 先端の学問を学べる | 12. 自分の偏差値にふさわしい |
| 5. 将来性の高い分野を学べる | 13. 高校から推薦入学制度がある |
| 6. 教育面に優れた教員がいる | 14. 京都という立地条件が良い |
| 7. 研究面に優れた教員がいる | 15. その他（具体的に |
| 8. 就職に有利である | 16. とくに考えていなかった |

10. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| 1. 就職する | 2. 大学院に進学する | 3. 留学する |
| 4. 他大学に（編）入学する | 5. 専門学校に入学する | 6. まだわからない |
| 7. その他（具体的に | |) |

11. あなた自身について、以下の点はどの程度あてはまりますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	1	2	3	4
	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1) できないと思われることに挑戦することが楽しい	1	2	3	4
2) 周囲に誇れる挑戦とその実績がある	1	2	3	4
3) 大変だと思うことも「何とかなる」と考えている	1	2	3	4
4) 何事も自分で決断する	1	2	3	4
5) 新しいものが好きで、今までのやり方にはこだわらない	1	2	3	4
6) グループの雰囲気が悪くならないように常に気にかけている	1	2	3	4
7) 周囲の考えていることを敏感につかみ、話をする	1	2	3	4
8) 一つの方法にこだわらず、他の方法で周りに働きかけることができる	1	2	3	4
9) 状況にあわせて当初の計画を変更する	1	2	3	4
10) 誰からの指示がなくても、自発的に動く	1	2	3	4
11) 予想していなかった状況に遭遇しても動じない	1	2	3	4
12) 目指すべき目標を示し、仲間をまとめてそこに向かう	1	2	3	4
13) 誰とでも話すことができる	1	2	3	4
14) 自分のミスを認めて、迷惑をかけた人に素直に謝る	1	2	3	4
15) お互いの立場の違いを考えて、意見をまとめようとする	1	2	3	4
16) 目標に向かってグループ全体が一つになるような環境作りに力を注ぐ	1	2	3	4
17) 大きな目的を決めてそれに向かって、日々やるべきことを決めている	1	2	3	4
18) 結論・理由・考え方を明らかにして、筋道を通して説得できる	1	2	3	4

12. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、1年間本学で学んで、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				1年間学んで			
	1	2	3	4	1	2	3	4
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身についた	身についた
1) 授業の重要なポイントをノートにまとめる力	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
3) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 4000字程度のレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 図書館の利用方法や文献を調べる力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) パソコン等を使って文書や資料を作成する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) インターネットで情報収集できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) 他人の意見に根拠のある批判をする力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 物事に対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4

13. あなたは、以下の学習態度が大学入学時にどの程度身につけていたと思いますか。また、1年間本学で学んで、それらがさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				1年間学んで			
	1 身につけていなかった	2 あまり身につけていなかった	3 やや身につけていた	4 身につけていた	1 身につけていなかった	2 あまり身につけていなかった	3 やや身につけていた	4 身につけていた
1) 自分のスケジュールを管理すること	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 学習の計画を立てること	1	2	3	4	1	2	3	4
3) 課題の提出期限を守ること	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 欠席した授業の内容をすぐに補うこと	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 積極的な態度で授業に臨むこと	1	2	3	4	1	2	3	4

14. あなたは、本学の授業を受けて、以下の大学生活面についてどの程度理解できましたか。また、授業や授業以外のプログラムでそれを指導してほしいと思いましたが。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	授業を受けて					授業で				授業以外で			
	0 受講した授業では扱われなかった	1 理解できなかった	2 あまり理解できなかった	3 やや理解できた	4 理解できた	1 指導してほしい	2 あまり指導してほしい	3 やや指導してほしい	4 指導してほしい	1 指導してほしい	2 あまり指導してほしい	3 やや指導してほしい	4 指導してほしい
1) 大学の建学の精神や理念	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 大学の歴史・伝統	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
3) カリキュラム編成と卒業単位の修得方法	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 履修登録の具体的な方法	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 授業担当教員の学問的な期待を理解する方法	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 効果的な学習方法	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
7) 大学内の施設・設備の利用方法	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
8) 大学で利用できる制度（留学など）	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
9) 大学で利用できるサービス（就職相談など）	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 学習や生活面での悩みを相談する方法	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
11) キャンパスのルール	0	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

15. あなたが受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。また、それは授業内容理解に、どの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	0 実施された授業はなかった	授業内容理解に			
		1 役に立たなかった	2 あまり役に立たなかった	3 やや役に立った	4 役に立った
1) グループ・ディスカッション	0	1	2	3	4
2) 学生によるプレゼンテーション	0	1	2	3	4
3) TA (大学院生の授業助手) による指導	0	1	2	3	4
4) グループ・プロジェクト	0	1	2	3	4
5) 定期的な習熟度チェック小テスト	0	1	2	3	4
6) 定期的な課題提出	0	1	2	3	4
7) 課題提出物の添削と返却	0	1	2	3	4
8) フィールド・ワーク	0	1	2	3	4
9) 体験学習	0	1	2	3	4
10) 実習・実験	0	1	2	3	4

16. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	授業は			
	1 役に立たなかった	2 あまり役に立たなかった	3 やや役に立った	4 役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方にふれること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4

17. あなたは、大学に入学してから、次の項目にどの程度適応したと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	うまく適応できなかった	やや適応した	かなりスムーズに適応した
1) 同じ学部・学科・専攻の他の学生との交流を深める	1	2	3
2) クラブ・サークル等の他の学生との交流を深める	1	2	3
3) 他の大学等の学生との交流を深める	1	2	3
4) 教員（所属学部・学科・専攻およびそれ以外も含む）との交流を深める	1	2	3

18. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動（勉強、文章作成、読書、実験、リハーサル等）を行いましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 5時間以下 2. 6～10時間 3. 11～15時間
4. 16～20時間 5. 21時間以上

19. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0時間 2. 1～10時間 3. 11～20時間
4. 21～30時間 5. 31～40時間 6. 41時間以上

20. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書（漫画、趣味・娯楽雑誌を除く）をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

21. あなたのこの1年間の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	1 し な か つ た	2 あ ま り し な か つ た	3 た ま に し た	4 日 常 的 に し た
1) 雑誌論文などを読む	1	2	3	4
2) 図書館を利用する	1	2	3	4
3) 辞書を利用する	1	2	3	4
4) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4
5) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4
6) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4
7) 授業中に教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4

この質問は、次のページに続きます

	1 し な か っ た	2 あ ま り し な か っ た	3 た ま に し た	4 日 常 的 に し た
8) ノートは、見出しの工夫をして整理する	1	2	3	4
9) 授業で配布された資料（プリント）を整理する	1	2	3	4
10) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
11) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4
12) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
13) 授業中以外に、他の学生と授業内容について議論する	1	2	3	4
14) 授業の予習をする	1	2	3	4
15) 授業の復習をする	1	2	3	4
16) 授業に遅刻をする	1	2	3	4
17) 授業を欠席する	1	2	3	4
18) 授業中以外に教員とコミュニケーションをとる	1	2	3	4
19) 試験前に授業のノートを読み返す	1	2	3	4
20) 試験前に指定された教科書や参考書を読む	1	2	3	4
21) 試験前に補足的な調べものをする	1	2	3	4
22) 試験前に授業内容をまとめる	1	2	3	4
23) パソコンの e-mail を使ったコミュニケーションを行う	1	2	3	4
24) 携帯電話の e-mail を使ったコミュニケーションを行う	1	2	3	4
25) 新島襄やキリスト教等建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4
26) アルバイトをする	1	2	3	4
27) ボランティア活動をする	1	2	3	4
28) クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4
29) 学生同士の研究会に参加する	1	2	3	4
30) 授業が無い日も大学に来る	1	2	3	4
31) 授業クラスのコンパに参加する	1	2	3	4
32) 専門学校に通う	1	2	3	4
33) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4

22. 本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

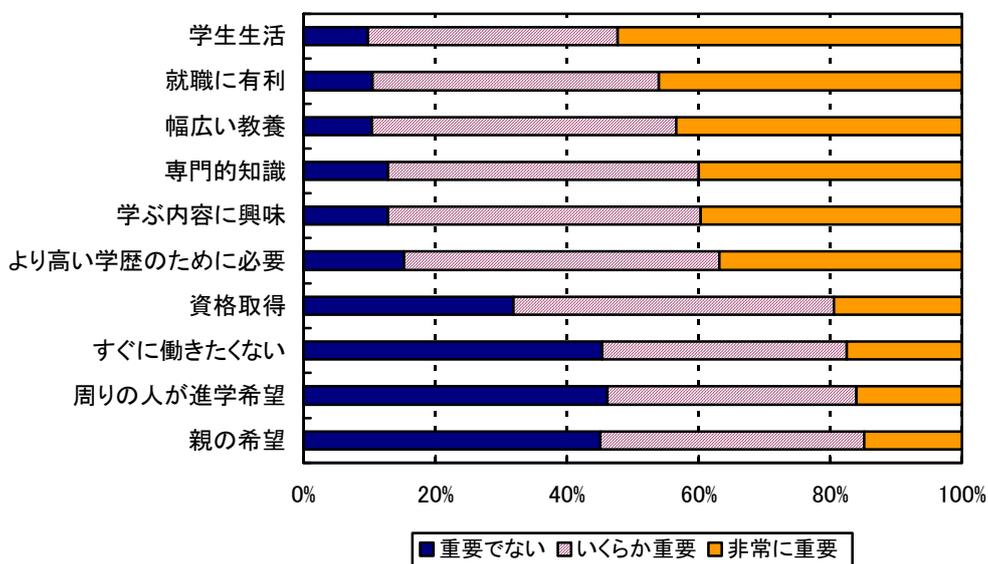
ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター（ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp）までご連絡ください。

Q8. あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。

大学に進学した理由として、最も重視されているのは、「学生生活を楽しんでみたかったから」「就職に有利だから」「幅広い教養を身につけたかったから」といった理由である。これらに、「専門的知識を身につけたかったから」「学ぶ内容に興味があったから」「資格を取るために必要だったから」などの学習内容を意識したものが続く。他方で、「親の希望だから」「周りの人たちが進学を希望したから」「すぐに働きたくない」といった消極的理由に関しては、重要でないとする割合がおよそ半数にのぼる（図1）。

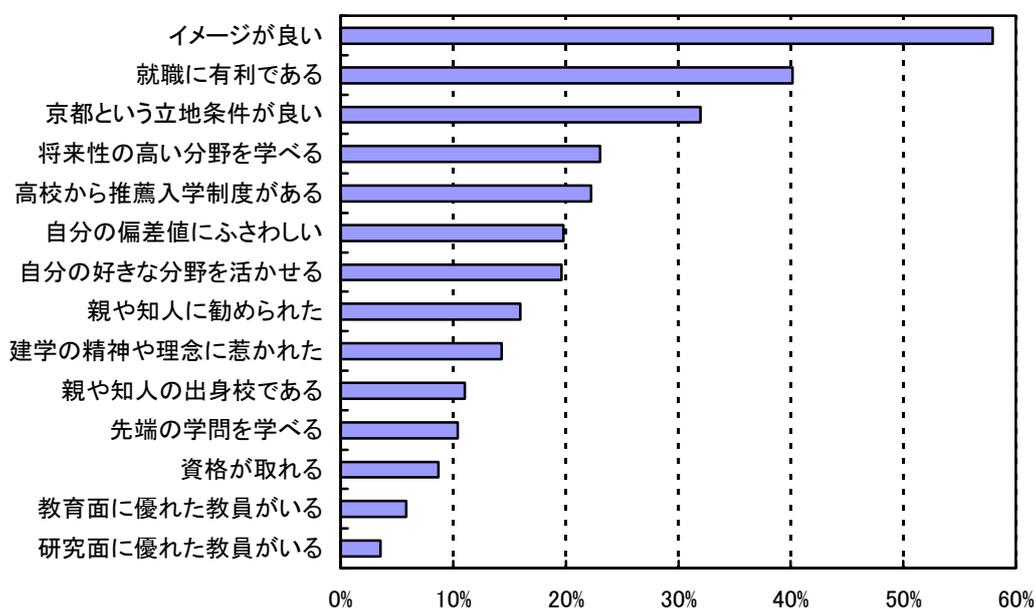
図1 大学に進学した理由（Q8）



Q9. あなたは志望校として本学を選択するにあたって、どのような項目を重視しましたか。

図2から明らかなように、大学のイメージの良さは、入学した学生の多くに共有されている。ここからは、大学に対する漠然としたイメージを重視して、大学を選択していることがわかる。また、「就職に有利である」が上位に位置しており、Q8の進学理由とあわせてみれば、卒業後の就職に対する関心が高いと推察される。これらに、「将来性の高い分野を学べる」「自分の好きな分野を活かせる」という進学後の学習内容を重視した理由や、「自分の偏差値にふさわしい」「高校からの推薦入学制度がある」とする受験理由が20%程度で続いている。

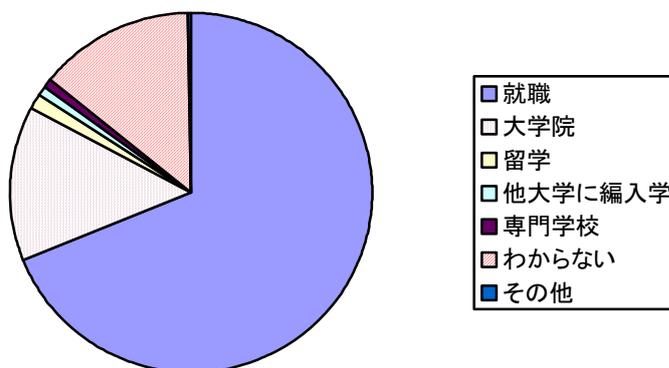
図2 本学を選択するにあたって、重視した点 (Q9)



Q10. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。

Q8 および Q9 では、進学理由として卒業後の就職が強く意識されていたが、学部卒業後の進路として、就職を考えている学生が最も多い。大学院への進学を考えている学生と、「わからない」とする学生が、それぞれ 15%弱程度である。

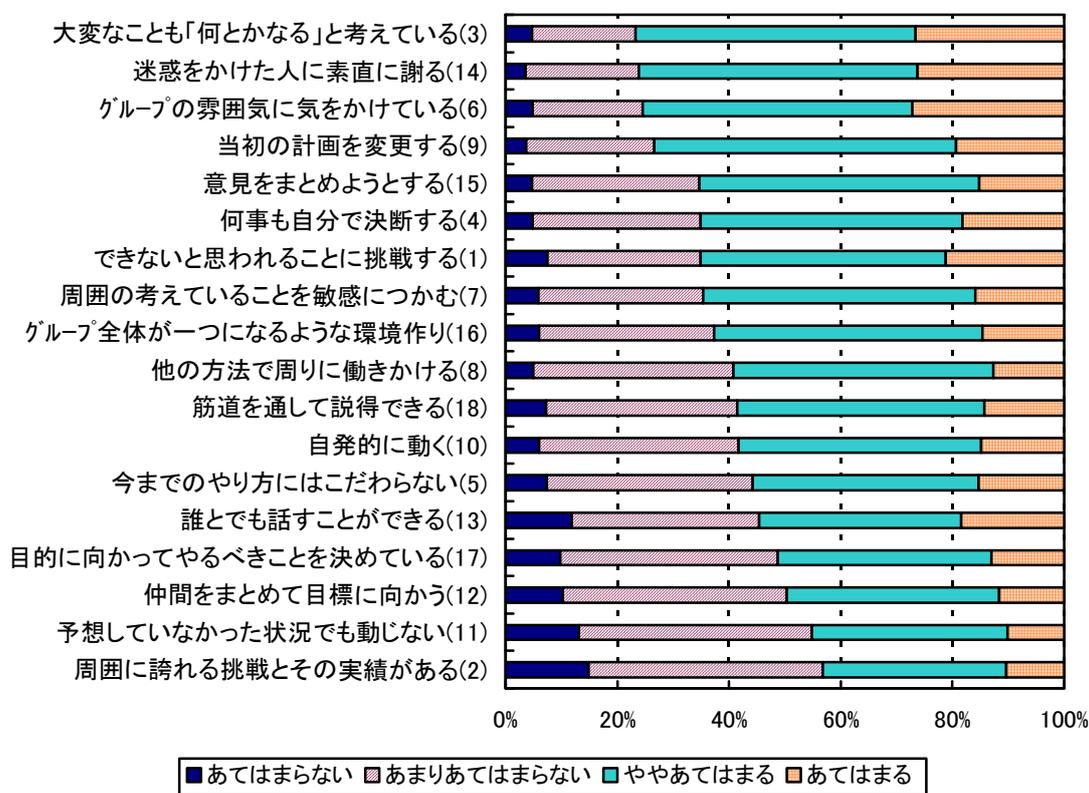
図3 卒業後の進路 (Q10)



Q11. あなた自身について、以下の点はどの程度あてはまりますか。

Q11 では学生の自分自身に対する意識について質問している。図4は「ややあてはまる」「あてはまる」の多い順に表示しており、数字は調査票の質問番号に対応している。質問内容は多岐にわたるため傾向をまとめることは難しいが、順に「大変なことも『何とかなる』と考えている」、「迷惑をかけた人に素直に謝る」、「グループの雰囲気気に気をかけている」については該当する学生が多いようである。反対に、「周囲に誇れる挑戦とその実績がある」、「予想しなかった状況に遭遇しても動じない」、「仲間をまとめて目標に向かう」についてはあてはまると回答する学生は多くない。

図4 自己イメージ (Q11)



Q12. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、1年間本学で学んで、その力がさらに身についたと思いますか。

Q12 では、入学時点と1年間学んだ後に、15項目の知識・技能がどの程度、身についたかを質問している。まず、1年間学んだ後に対する回答を見てみよう（図5では「やや身についていた」「身についていた」の多い順に表示しており、数字は調査票の質問番号を示す）。

項目は多岐にわたるが、すべての項目で身についたとする（「身についた」と「やや身についた」の合計）学生が5割を超えている。

項目別に見ると、「インターネットでの情報収集」や「パソコン等を使って文書や資料を作成」など、情報機器を使ったスキルが上位に位置している。一方で、「自分の意見を筋道立てて主張」、「他人の意見の根拠ある批判」、「プレゼンテーション」といった、他者とのコミュニケーションに関連したスキルについては、身についたとする割合が相対的に低い。「科学的・数量的にものごとを見る力」は身についたとする学生が最も少ないが、本学には文科系学部が多いことが反映されていると考えられる。

図5 1年間学んで (Q12)

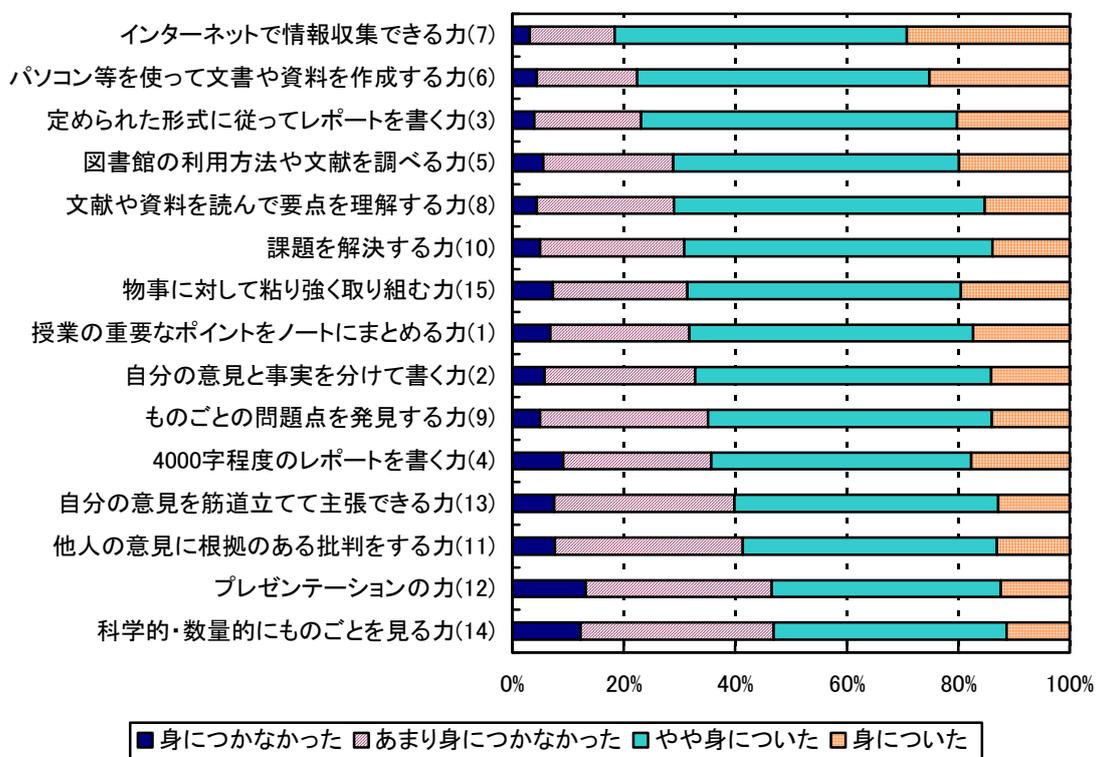
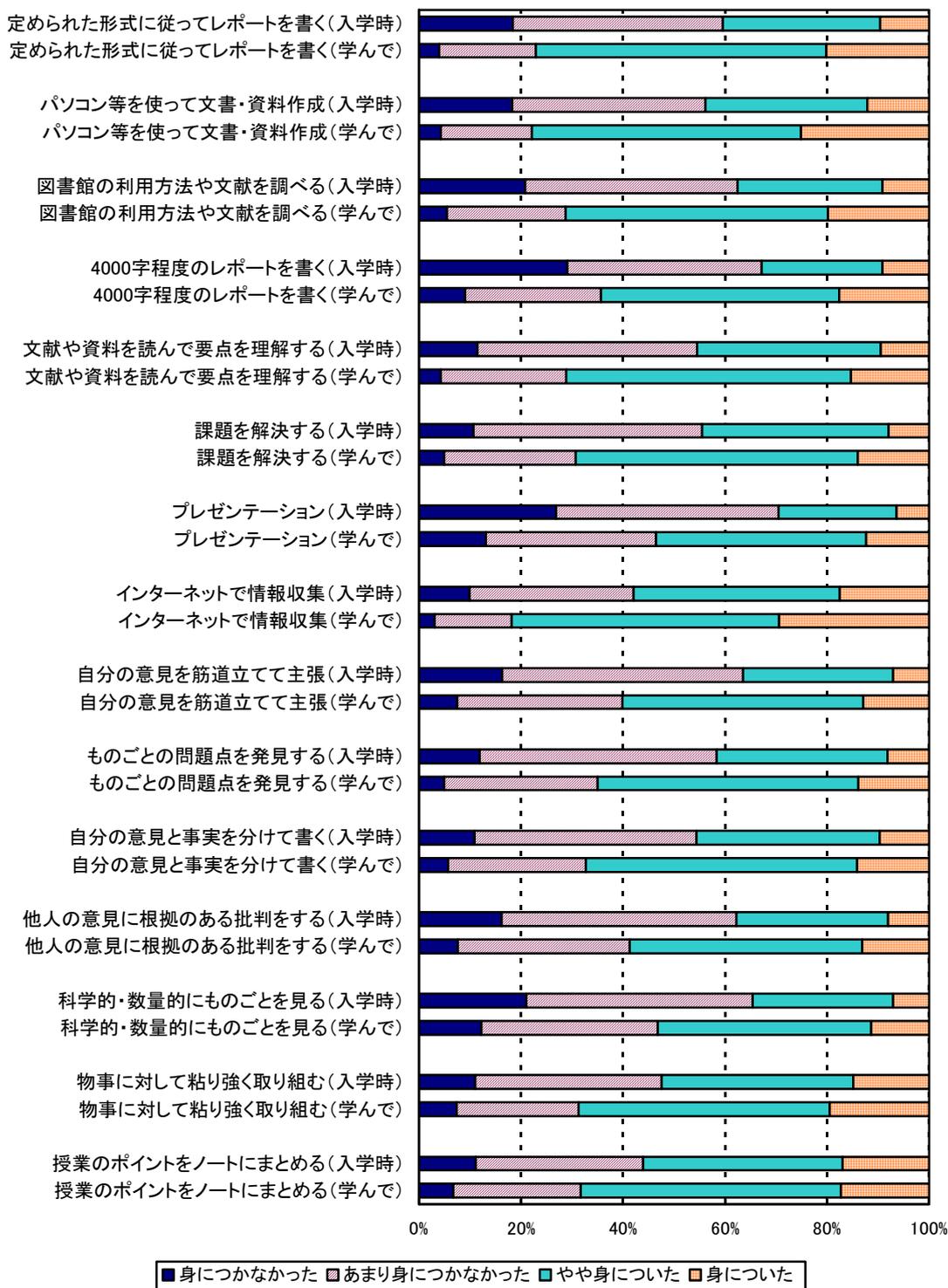


図6は、大学入学時と入学1年後の自己評価を並列させ、身についた学生の増加が多い順に並べ替えている（「大学入学時」と「1年間学んで」の両方に回答している学生に限定して集計している）。

入学時と比べて身についた者が多い項目として、「定められた形式に従ってレポートを書く」、「パソコン等を使って文書や資料を作成」「図書館の利用方法や文献を調べる」が挙げられるが、これは先の図5の傾向と一致する。これに対して、「インターネットでの情報収集」は学生の割合の増加という点から見れば、中位に位置しており、入学前に比較的良好に身につけているスキルであるといえる。他方、「4000字程度のレポートを書く」「プレゼン

テーション」については、身についたとする割合では低かったが（図 5）、伸びでは中位に位置しており、高校までの学習では身につけにくいことが示唆される。

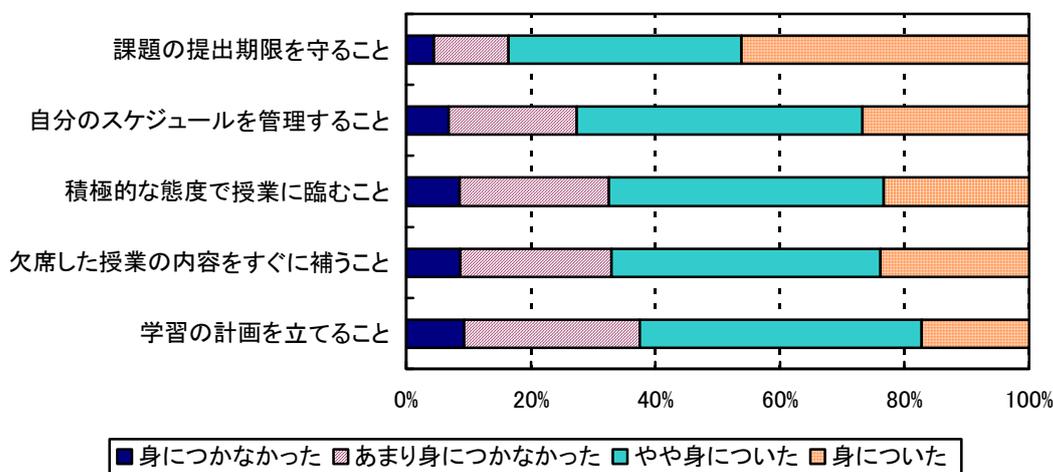
図 6 入学時と 1 年後の変化 (Q12)



Q13. あなたは、以下の学習態度が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、1年間本学で学んで、それらがさらに身についたと思いますか。

図7は1年間学んで、学習態度がどの程度身についたかを示している。「課題の提出期限」は、「やや身についた」を含めて、8割以上の学生が身についたと回答しているが、多くの学生が期限を守って課題提出をしているということだろう。他の項目に関しては、身についた学生が6割から7割程度であるが、このなかでも「学習の計画を立てること」は他の項目と比べて低く、計画的に学習することは難しいようである。

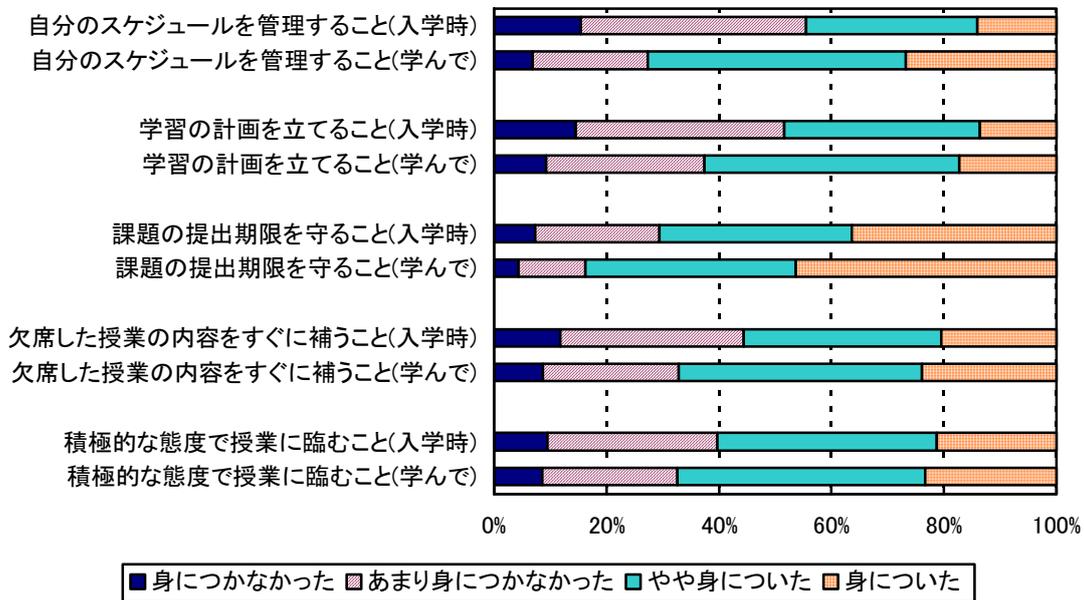
図7 1年間学んで (Q13)



次の図8は、大学入学時と入学1年後を比較して、身についた学生（「やや身についた」＋「身についた」）の増加が多い順に並べ替えている（「大学入学時」と「1年間学んで」の両方に回答している学生に限定して集計している）。

図8によれば、「スケジュール管理」について身についたと自己評価した学生が多い。これは、授業時間割の作成や、学業とアルバイト等の活動を両立することによって、身につけていると考えられる。一方で、「積極的な態度」は6割の学生が、入学の時点で「(やや)身についていた」と考えており、入学後の増加は少ない。

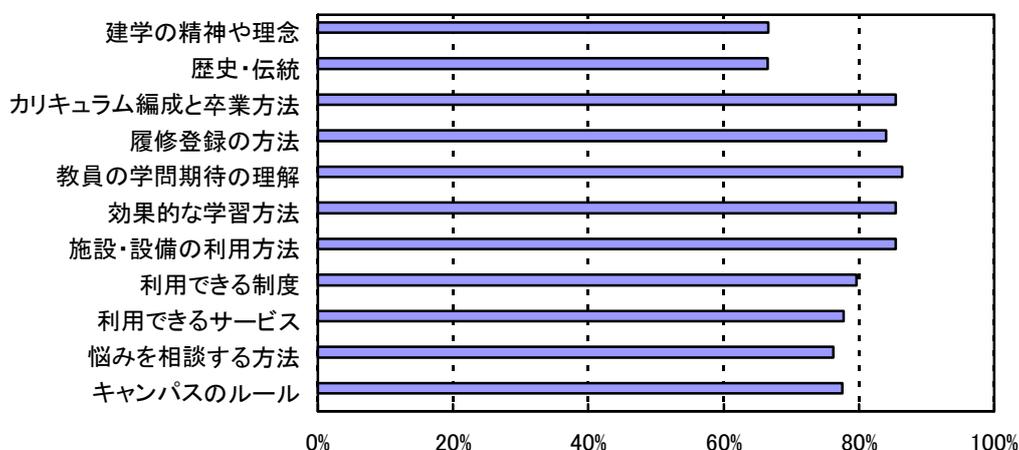
図8 学習態度の変化 (Q13)



Q14. あなたは、本学の授業を受けて、以下の学生生活場面についてどの程度理解できましたか。また、授業や授業以外のプログラムでそれを指導してほしいと思いましたか。

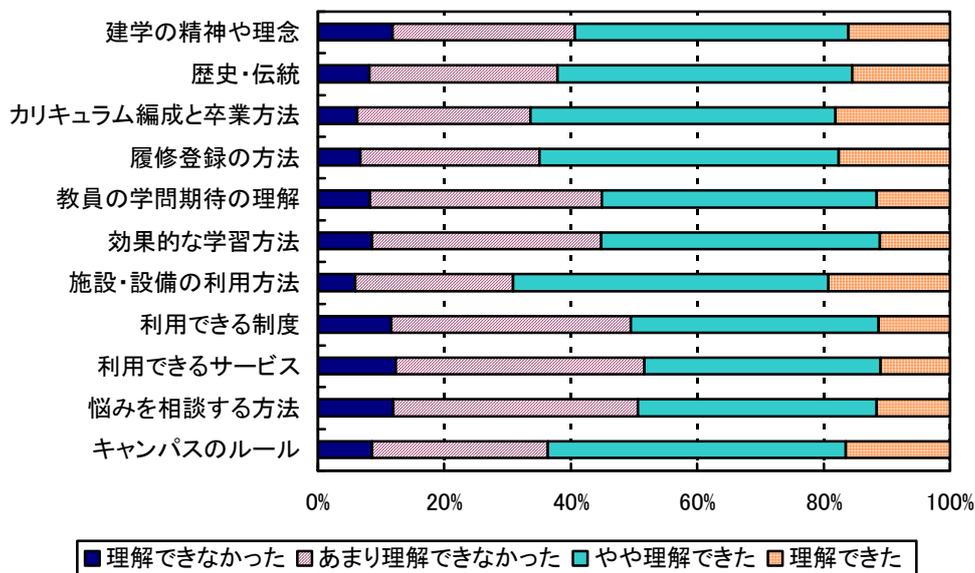
この質問では、いくつかの授業内容に関して、「0:受講した授業では扱われなかった」「1:理解できなかった」「2:あまり理解できなかった」「3:やや理解できた」「4:理解できた」の4つの選択肢が設けられている。各項目に関して、1から4の回答をした学生を、そうした授業を受講した者と見なし、学生の視点から見た受講率として算出した(図9)。図9によれば、「カリキュラムの編成と卒業方法」など、8割以上の学生が受講した授業がある一方で、「大学の建学の精神や理念」、「大学の歴史・伝統」を授業で受けたとする学生の割合は相対的に少ない。

図9 受講率 (Q14)



次に、それぞれの授業内容の受講者に限定して、授業での理解度について見てみる（図10）。ここで取り上げられている内容に関して、「やや理解できた」も含めると、50～60%の学生が理解したと回答している。「大学内の施設・設備の利用方法」の理解がやや高い一方で、「大学で利用できる制度」、「大学で利用できるサービス」、「学習や生活面での悩みを相談する方法」については、半数程度の受講者は理解できていないと回答している。

図10 受講者の授業での理解 (Q14)



さらに、大学の授業や授業以外で、それらの指導を希望するかについても併せて質問している。授業および授業以外での希望を示したのが、図11と図12である。「カリキュラム

の編成と卒業単位の修得方法」, 「履修登録の具体的な方法」, 「大学で利用できるサービス」については希望する学生がやや多いが, 他の項目と比べると, 「大学の建学の精神や理念」, 「大学の歴史・伝統」の指導を希望する学生が少ない。

図 11 授業への期待 (Q14)

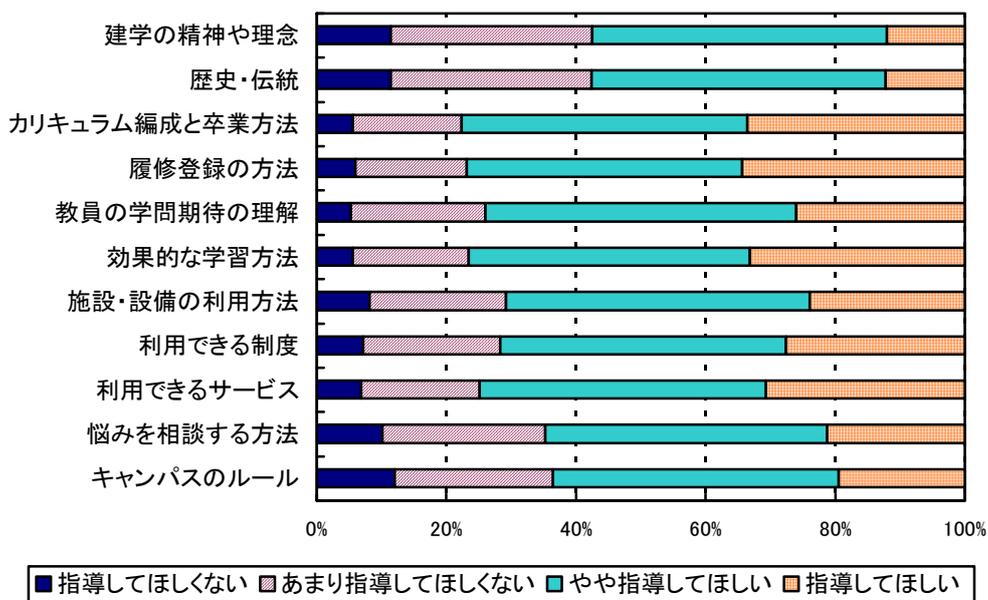
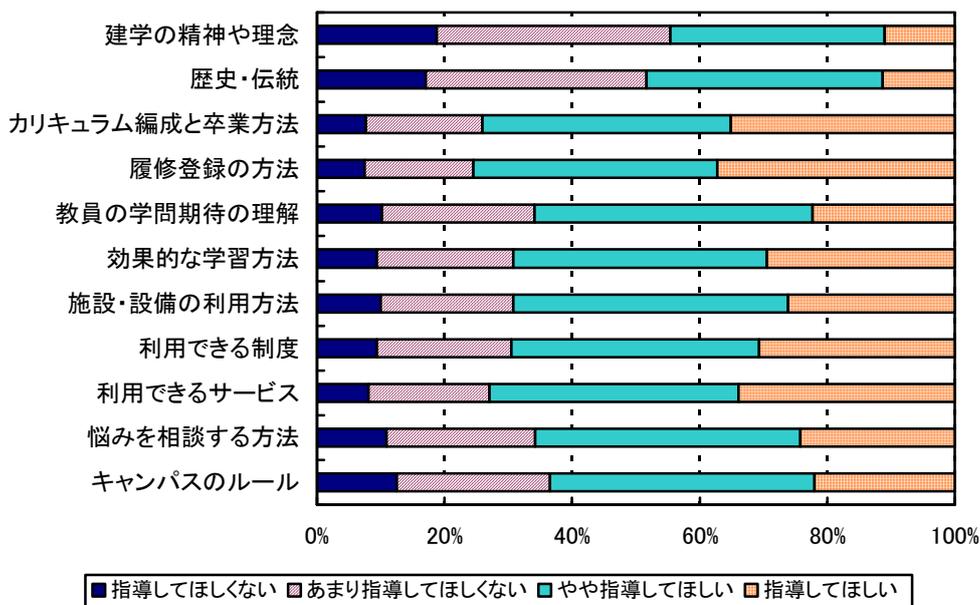


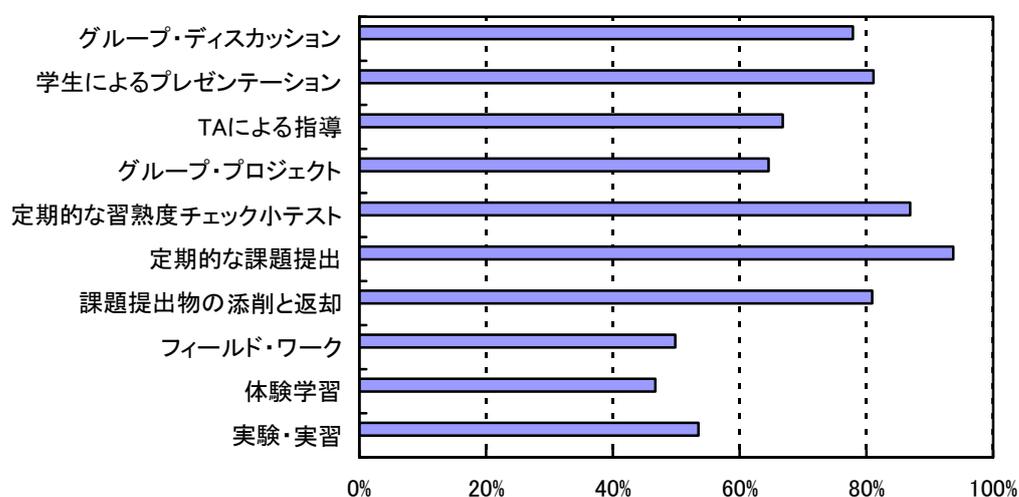
図 12 授業以外への期待 (Q14)



Q15. あなたが受講した授業で、以下の授業形態・方法がとられたものがありましたか。また、それは授業内容理解に、どの程度役立ちましたか。

Q15 では、10 項目の授業形態について、「0:実施された授業はなかった」「1:役に立たなかった」「2:あまり役に立たなかった」「3:やや役に立った」「4:役に立った」の 4 つの選択肢が設けられている。ここでも、各項目に関して、1 から 4 の回答をした学生を、そうした授業を受講した者と見なし、受講率として算出した（図 13）。

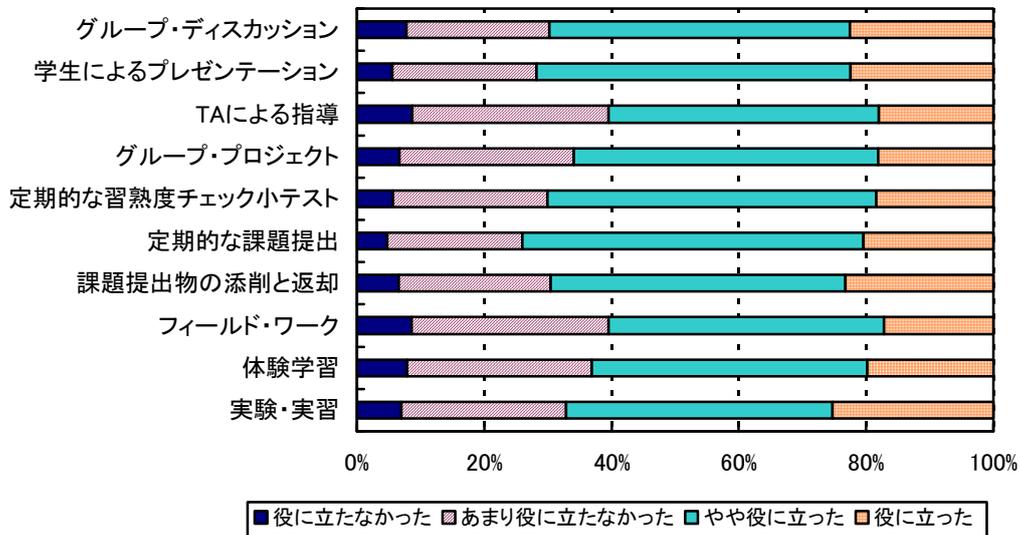
図 13 受講率 (Q15)



各授業形態・方法の受講率を見ると、「定期的な課題提出」や「小テスト」の受講率が高い。また、「グループ・ディスカッション」や「プレゼンテーション」「課題提出物の添削と返却」も比較的よく行われているようである。他方で、「フィールド・ワーク」、「体験学習」、「実験・実習」は少なく、半数程度である。また、図には示していないが、授業形態・方法に関しては、学部・学科の特徴が見られる。

次に、受講者に限定して、授業内容の理解に対する効果についても見てみよう（図 14）。どの形態も役立った（「やや役立った」、「役立った」）とする受講者が 6 割を超える。「グループ・ディスカッション」、「プレゼンテーション」、「定期的な課題提出」などが、役に立ったと認識される割合が、若干高い。

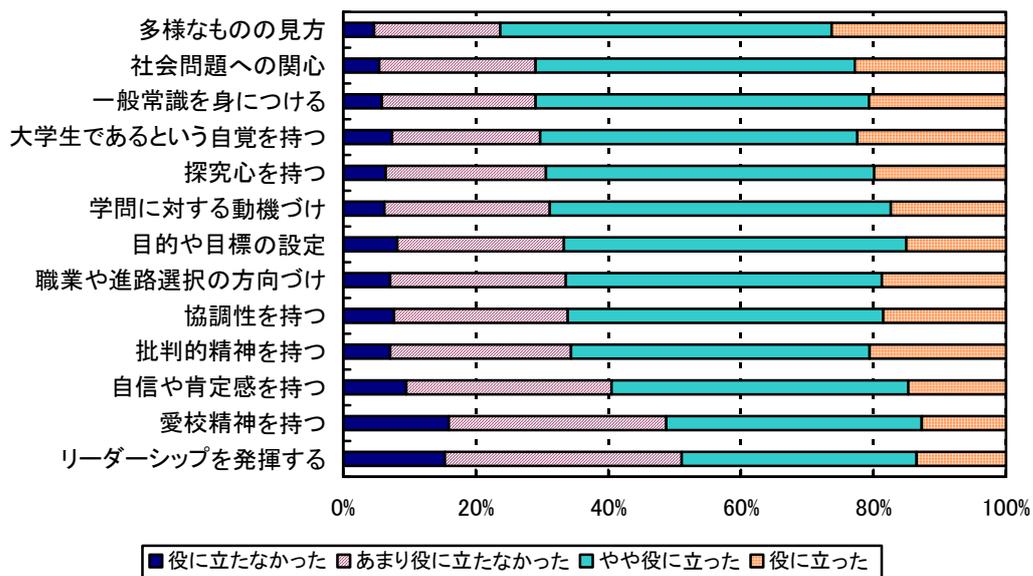
図 14 受講者の授業での理解 (Q15)



Q16. あなたにとって、本学の授業内容は次の項目に対してどの程度役立ちましたか・

図 15 によると、授業の効果はおおむね肯定的に捉えられているようである。特に、「多様なものの見方」については、8割近くの学生が役に立ったと回答している。これに、「社会問題への関心」などが続く。反対に、「愛校精神」、「リーダーシップ」は役に立ったとする学生が半数にとどまり、授業の効果はそれほど強くないと推察される。

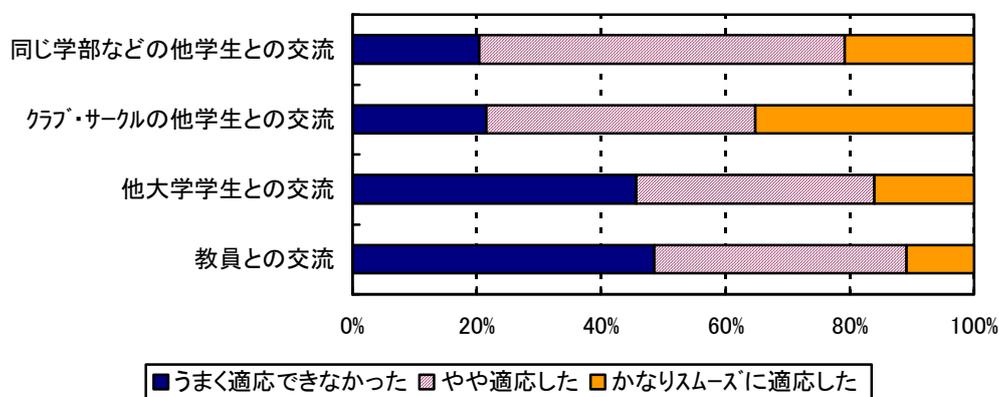
図 15 授業に対する評価 (Q16)



Q17. あなたは、入学してから、次の項目にどの程度適応したと思いますか。

Q17では他の学生、教員との交流について質問している。まず、クラブ・サークル活動を通じた交流に関しては、比較的スムーズに適応しているようである（ただし、この質問ではクラブ・サークルに所属していない学生を区別できていない）。また、「同じ学部・学科・専攻の他の学生との交流」についても、「やや適応した」までを含めれば、8割程度の学生が適応している。これに対して、1年次の期間には、教員と交流する機会は少ないようである。

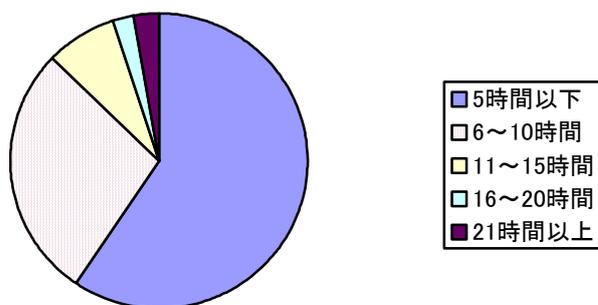
図 16 学生・教員との交流 (Q17)



Q18. あなたは、授業期間中、通常1週間に何時間、授業中以外に学習活動（勉強，文章作成，読書，実験，リハーサル）を行いましたか。

1週間の授業時間としては5時間以下が圧倒的に多く、半数を超える。一方、10時間以上学習する学生は、1割程度である。

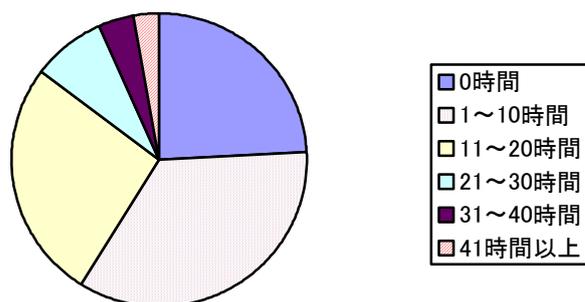
図 17 学習時間 (Q18)



Q19. あなたは授業期間中に、通常 1 週間に何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。

図 18 を見ると、1/4 程度の学生はアルバイトをしていない。アルバイトに従事している学生では、「1～10 時間」と「11～20 時間」が大きな割合を占める。また、長時間（30 時間以上）アルバイトを行っている学生も 7%程度いるようである。

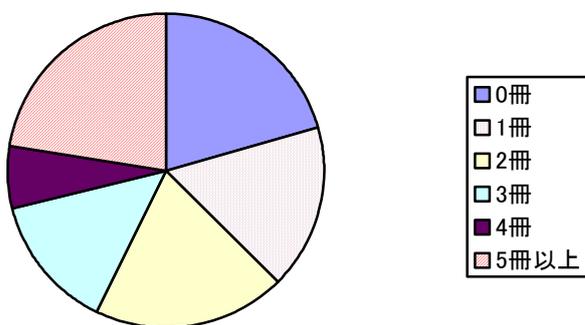
図 18 アルバイト時間 (Q19)



Q20. あなたは、最近 3 ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書をしましたか。

図 20 によれば、2 割の学生は読書をしていない。反面、5 冊以上読んだ学生も 2 割強存在し、学生の嗜好が多様であることを示している。

図 19 読んだ本の冊数 (Q20)

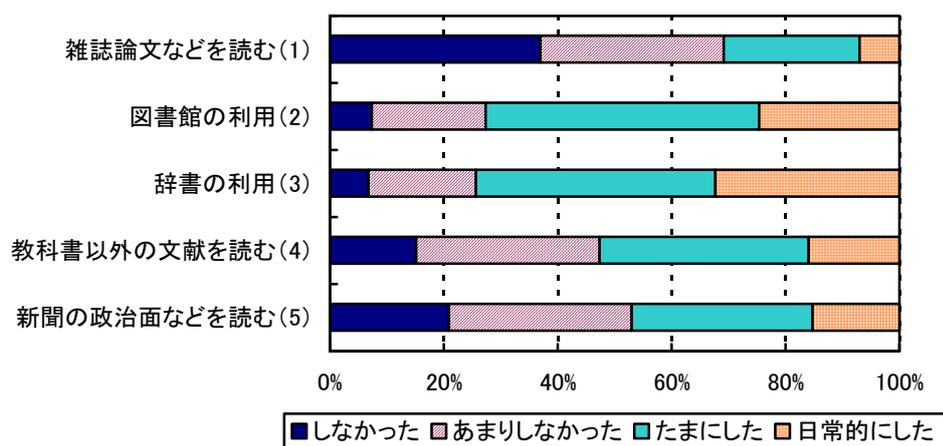


Q21. あなたのこの1年間の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

Q21では、入学後1年間の学生の学習・生活習慣について質問している。多様な行動が含まれるため、ここでは、いくつかのグループに分けて集計している。なお、図中の質問文に続く(数字)は調査票の質問番号に対応している。

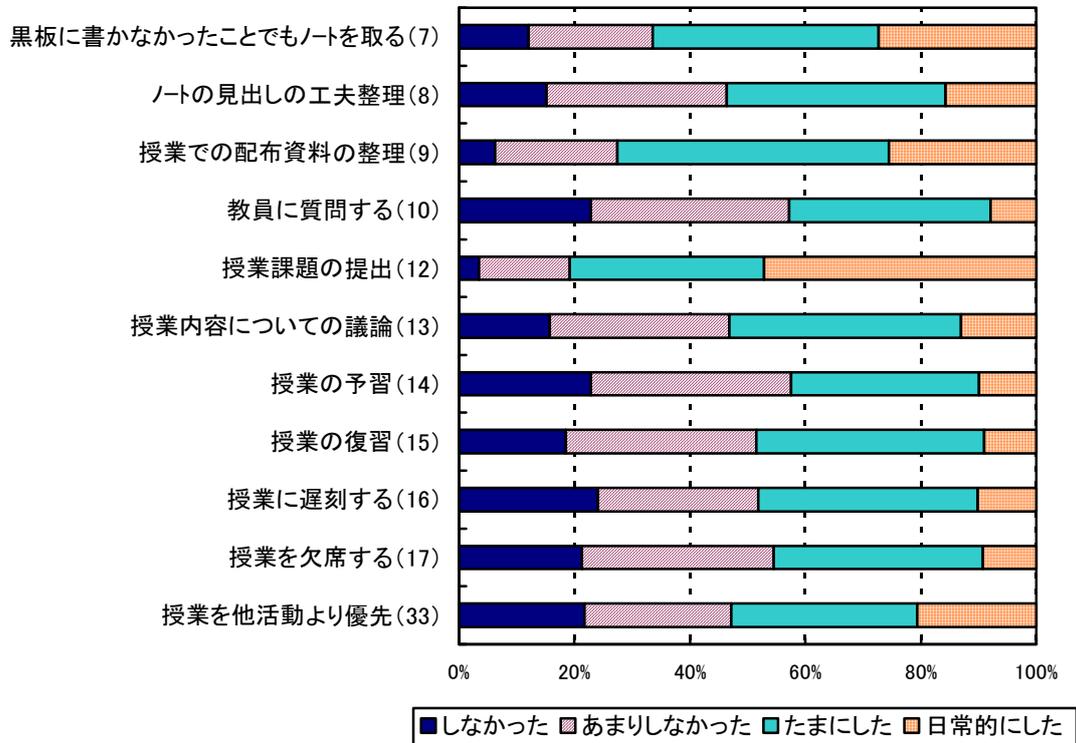
まず、文献や新聞等による学習である(図20)。「辞書を利用する」「図書館を利用する」で頻度が高くなっているが、前者については、語学の学習などで利用することが多いと思われる。他方で、「教科書以外の文献を読む」や「新聞の政治面、経済面、国際面等を読む」については、「たまにした」を含めて半数程度にとどまる。また、1年生の時点で「雑誌論文などを読む」ことは少ないことが伺える。

図20 文献や新聞等による学習(Q21)



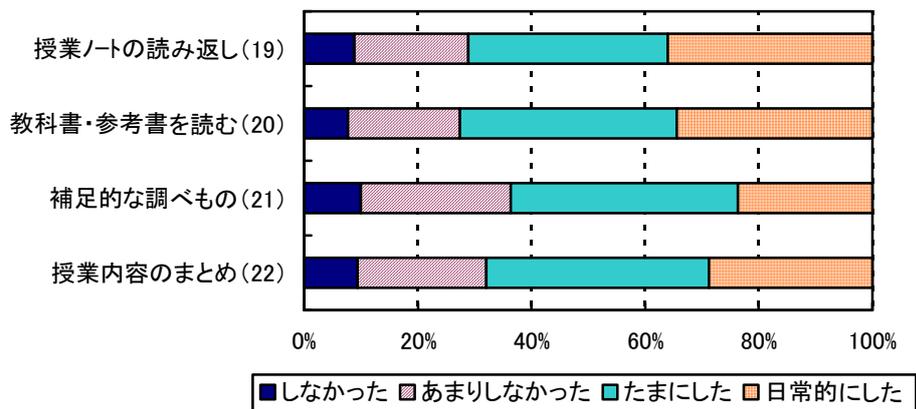
次に、授業での学習習慣について見てみよう(図21)。頻繁に行われているのが、「授業課題の提出」である。これは、Q13の結果とも対応しており、授業課題については比較的多くの学生が期限どおりに提出しているようである。しかし、「教員への質問」や、「授業の予習」、「授業の復習」など、学生の積極的な態度が必要とされる活動については、必ずしも頻度が高いわけではない。これに加えて、「授業に遅刻する」「授業を欠席する」「授業を他の活動よりも優先する」ことも少なからずある。

図 21 授業 (Q21)



学習活動について試験前に限定すれば、どの項目も 7 割程度の学生が行っている。しかし、試験前に準備をしなかった学生も 1 割程度は確認される (図 22)。

図 22 試験前の学習 (Q21)



また、図 23 から情報機器を利用した学習については、「インターネットで情報を収集する」や「パソコンを使って文書や資料を作成する」の頻度が高い。これは、大学で身につけたスキル (Q12) とも対応している。また、学習とはやや異なるかもしれないが、パソコ

ンよりも携帯電話がコミュニケーションの主要なツールであることが確認できる。

図 23 情報機器 (Q21)

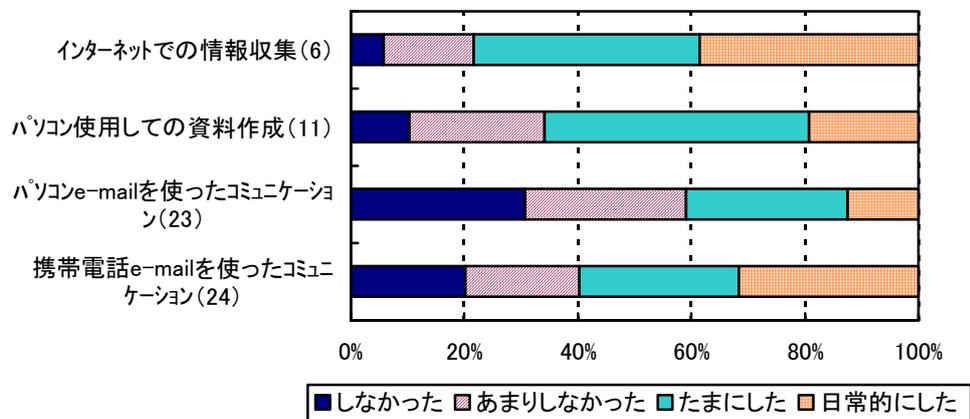


図 24 ではそのほかの習慣について1つにまとめている。雑多な活動を含んでいるため明確な傾向は見出しにくいですが、アルバイトやクラブ・サークルを除けば、それほど頻度が高いわけではない。とはいえ、頻度の最も低い「専門学校に通う」でも一部の学生には行われており、学生の多様な学習活動の一端を伺うことができる。

図 24 その他 (Q21)

